

令和3年度7月例会報告

- 日時 令和3年7月28日(水)
- テーマ 本佐倉城から天使の森公園へ
- 集合 みどり児童公園
- 集合時間 9時00分
- 参加者 29名
- 距離 11キロ
- 解散 13時00分(佐倉市立美術館前)
- 案内役 リーダー:鈴木 正一、サブリーダー:有松 平
- コース ①みどり児童公園⇒②千成⇒③大佐倉駅⇒④本佐倉城⇒⑤吉祥寺⇒⑥天使の森公園⇒⑦松林寺⇒⑧裏新町⇒⑨佐倉市立美術館(解散)

カレッジ29期生が5名参加してくれました

7月の例会は、毎年、猛暑との戦いとなりますので、近場で近距離のコースを計画しています。今回は、本佐倉城跡がメインです。近くの名所でありながら、意外にも歩こう会として訪れるのは平成24年の11月以来、なんと10年ぶりです。

当日は、台風8号の直撃が心配されましたが、幸い関東をそれたため、晴天の中、例会を開催することができました。参加者は29名、嬉しいことに佐倉市民カレッジ29期生の皆さんが5名、参加してくれました。これを機に、新しい仲間がたくさん増えることを期待したいと思います。

今月の案内人は、鈴木正一さん(サブは有松さん)です。

みどり児童公園で、コース説明、準備体操を済ませ、さっそく、出発。暑さ対策、コロナ感染対策を徹底し、今日も元気いっぱい、頑張っておきます！！

本佐倉城跡案内所 ーとても素晴らしい施設でしたー

線路沿いに千成を抜け、大佐倉駅の信号を越えると、もう本佐倉城跡は間近。順調に歩を進めていると、本佐倉城の正面玄関ともいえる「東光寺ビヨウ」のあたりで、急に雲行きが怪しくなり、突然の大粒の雨。すぐにあがるかと思いきや、この雨、なかなかしぶとく、一向に止む気配がない。

なんとか「本佐倉城跡案内所」に辿り着き、ここで雨宿り兼休憩です。

案内所は今年1月に開設されたばかりで、鉄骨平屋建て(72平方メートル)の素晴らしい施設です。

(佐倉城址公園管理センターが貧弱に思ってしまったのは、私だけでしょうか・・・?)

案内所の中は、千葉氏の歴史、本佐倉城の構造、発掘調査の成果などがわかりやすく展示されていました。

ボランティアガイドさんが、城跡の案内もしてくれるとのこと。残念ながら雨のピークだったため、詳しい説明をお聞きできませんでしたが、次の機会には、ゆっくりと城跡見学をしたいと思います。親切に対応していただいた案内所のみなさん、ありがとうございました。

千葉氏最後の居城「本佐倉城」とは

千葉氏は鎌倉幕府の成立に貢献し、下総守護職として関東の有力大名の中でも筆頭の地位にいました。

その居城が本佐倉城であり、文明年間(1469-1487)に築城されましたが、天正18(1590)年に豊臣秀吉によって滅ぼされ、廃城となりました。

北総台地の複雑な地形を利用し、大地を削り谷を埋め、空堀や土塁を巧みに配した巨大な「土の城郭」となっており、今でもその面影が鮮明に残っていました。東山馬場は、城主のための馬場があった場所とされていますが、ここに何やら怪しい模様の盾が幾重にも設置されていました。あとでわかったのですが、この三日月に星一つの模様は、「月星紋」といって、千葉氏の家紋でした。

憩いの広場「天使の森公園」

本佐倉城跡を出て、佐倉五か寺の一つである吉祥寺に向かいましたが、またもや雨がポツリポツリ。雨があがると、今度は蒸し暑さがぶり返し、なかなか厳しいコンディションとなりました。

トライアルで長めの休憩をとり、その後、佐倉斎場の脇を通り、大蛇町の天使の森公園へ。

佐倉市民でもあまりなじみのない、名前が可愛い「天使の森公園」ですが、実は、火葬場の跡地利用とのことです。広場の中央には、桜の大木があり、広い草はらが広がっていて、多目的に楽しめる公園となっています。

子供たちや高齢者が憩う広場として、地元の皆さんにはなじみのある公園なのでしょう。

その後、佐倉高校の所で左折し、松林寺を経て、裏新町を通り、佐倉市立美術館前で解散となりました。

7月の歩こう会は、例年、暑気払いが恒例となっていますが、残念ながら、今年はなしです。

千葉県においてもコロナの感染が急増していますが、一日も早い終息を願うのみです。（報告 伊香賀）



カレッジ29期生が参加してくれました



京成の線路沿いを歩く



突然降り出した雨！！



「月星紋」の盾(東山馬場)



本佐倉城案内所で雨宿り



雨が上がり、案内所を出発



本佐倉城跡にて集合写真



吉祥寺に到着



天使の森公園で一休み